

さいがいへの心がまえ

公集小学校 四年四組 木原 杏

私の通っている小学校では、きん急時にそ

なえて「ひなん訓練」を引きわたし訓練「な

どを行っている。コロナウイルス感染症「よ

う予防のため、学校全体で行う事は無理だが

学年たん位で保ご者もふくめて訓練をしてい

る。

今年の六月に行われた「引きわたし訓練」

では、保ご者のけいたい電話に学校から「引

き取り」のお願いメールがとき、教室に待

きしている私たちをむかえに来て、先生の「

くにんのもと引きわたしという流れでした。

実さいにさいがいが起こたらパニックにな

って訓練のようにスムーズには行かないだる

う。訓練の後、自分で考えたり、家庭で話

し合たりすることで訓練が生かされると思

う。

後日、私は「ひなん場所」の「かい中電と

「ヘルメット」などの「かくんをし、下松市

からかく家庭に配ふされている。防さいがい
ドブツクを家族といっしよに読んでみた。
その中に書かれていゝ『ひじょう持出品』の
ページを見てみると、家にいつもあるものは
かりだつたが、すぐに持ち出せるかといへば、
そうはいかないと感じた。家族が使いやすい
ように、それぞれちがう場所においてあるた
め、『ただちにひなん』となつた時には、わが
家はとまることになる。これをき会に使わな
くなつたり、ユツクに自分でできるはんいでま
とめてみた。それだけでも少し安心した。気持
ちになつたのを覚えていゝ。
学校から配信されるメールには集だんで行
う訓練のほかにも、台風や大雨の時に『登下
校の安全かく保』するためのメールもとくとく。
予ほうから想定して登下校時間を変えうして
安全を第一に考えてくれている。さいかいほ
いつ起さるか分からない。起きてからはお
そいのだ。

台風のえいきうでかん板が飛んできて、

大けがをしにというニユ
ト入を見たことかあ
る。どんなに気を付けて
いても物が飛んでき
て、あんなにたりしてけ
がをすることもあるの
だ。わが家では、台風や
風が強い時には、外
に置いてある物を家の中
に入れたり、飛ぶな
いように対さくをしてい
る。自分や家族の命
はもちろんのこと、周
いの人には、あわくが
かからないようにする
ためだ。

さいがいはいつ起さる
か分からない。その
ために、可ひじょう時
の持出品□や可ひなん場
所□、可きん急連らく先
□などのかくにんをし
ておけば、パニックにな
ることもないだろう。
入ませにするのはなく、
自分でできること
とは自分で対さくをして
いく事も大切だと思
った。